

青少年の健全と地域の安全を願い 山田北小鼓笛隊がパレード

いつも私たちを見守ってくださり、ありがとうございます——。5月23日、山田北小学校の鼓笛隊(4～6年生、36人)による「青少年健全育成並びに地域安全パレード」が行われました。これは、青少年の健全な成長と地域安全の啓発のために例年行われているものです。パレードには、鼓笛隊に加えて保護者、山田町防犯隊、同交通指導隊も参加し、同小から関口児童館までの往復約3㎞を行進。沿道には多くの住民が駆けつけ、青空の下で元気に演奏する子どもたちに、大きな拍手を送っていました。



5.5こどもの日in山田八幡宮開催 多数の家族連れでにぎわう

5月5日、山田八幡宮境内において「5.5被災地の子どもたちに元気と希望を届ける会」による、「5.5こどもの日in山田八幡宮」が開催されました。子どもたちに元気と笑顔をが合言葉のこのイベントは今年で4回目の開催。当日は大勢の家族連れでにぎわい、たくさんのこのいぼりの下で子どもたちは、餅や焼きそばを笑顔で頬張っていました。後半には、しまじろうショーが行われ子どもたちは大喜び。また、岩手のヒーロー・鉄神ガンライザーも登場し、会場は歓声に包まれていました。

科学の世界に興味津々 豊間根中学校で講演会開催

5月21日、豊間根中学校において「国際リニアコライダー講演会」が行われました。講師はドイツマインツ大学教授の齋藤武彦^{さとう たけひこ}さん。これまで約110回もの講演会を行ってきた齋藤さんの講演は、中学生には難しい宇宙や物理の話にユーモアを交えてわかりやすくしたもので、生徒たちは興味津々に聞いていました。最初は国際リニアコライダーについてよくわかっていなかった生徒たちでしたが、講演の後は岩手県に国際リニアコライダーが誘致されることの重要性を理解していました。



船小でオリンピックデーフェスタ 五輪出場者とスポーツ交流

日本オリンピック委員会の被災地支援「オリンピックデー・フェスタ」が4月28日、船越小学校で開かれ、ソチオリンピック出場者が児童とスポーツを通して触れ合いました。葛西紀明選手^{のりあき}、伊東大貴選手^{だいき}、高梨沙羅選手^{さろ}ら6人がしっぽ取り競争や大玉転がしなどをして交流。しっぽ取り競争では、すばやい動きで児童が選手からしっぽを取る場面も。会の終わりに選手たちとハイタッチを交わす児童たちの目は、メダルと同じようにきらきらと輝いていました。



町のあたい

今月の題字 芳賀 ^{はるな} 晴奈ちゃん（大浦小3年）



三陸山田カキ祭りが復活 大勢の人が海の幸を堪能

4月29日、山田魚市場特設会場において山田町商工会による「三陸山田カキ祭り」が開催されました。震災後、休止していたイベントでしたが今回復活。6,000人が訪れた会場では物産販売コーナーとしてカキ、ホタテ貝などが出品されたほか、出店コーナーでは焼きガキやホタテの串焼きなどを販売。また、屋外に設置されたバーベキューコーナーでは大勢の人が、購入した海産物に舌鼓を打っていました。特に盛り上がったのはカキ・ホタテの2本かぎすくい。2本かぎの扱いに苦戦しながらも、参加者たちは楽しそうにカキ・ホタテをすくっていました。

町長杯スポ少野球大会 山田スポ少が優勝を飾る

4月26日、第26回町長杯スポ少野球大会が開催されました。大会は町総合運動公園で行われ、町内の少年団3チーム（豊間根、大沢、山田の各野球スポーツ少年団）が出場。大沢野球スポーツ少年団の鳥居旭君の元気な選手宣誓で始まった同大会では、選手たちが打撃に守備にと随所に光るプレーを見せていました。手に汗握る試合の結果、決勝で14対6のスコアで勝った山田野球スポーツ少年団が優勝。準優勝には大沢野球スポーツ少年団。また、第4回井上義一旗争奪中学校野球大会も行われ、山田中学校が優勝しています。

